



E-mail: honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL : 0897-32-0302

FAX : 0897-32-0311

## シベリア抑留慰霊祭での体験『仏前のお手玉』 札幌お手玉同好会の今井幸子さんの投稿が新聞に

札幌お手玉同好会代表の今井幸子さんが、夫の信次さんと一緒に、平成26年8月に参加した、シベリア抑留慰霊祭の様子を綴った文章『仏前のお手玉』が、平成26年9月3日付の「北海道新聞」投稿欄「いずみ」に掲載されました。  
ここに、その全文をご紹介します。

8月20日、札幌で行われたシベリア抑留慰霊祭に夫と参加させていただきました。参加者は昨年よりかなり少数となり、あらためて一年の重みを実感いたしました。

92歳の夫も近頃は抑留中の寒さの中でのむごい生活を、めったに口に出さなくなりました。式は黙とうの後、実行委員長や抑留者代表、遺族代表の式辞がありました。私は耳が遠くなり、その日は風が強かったので聞き取ることが困難な状態でした。お供えした式辞の書面が吹き飛ばされそうになり、係の人がバッグから何かを探していました。

「飛ばされないように重しを探している？」と判断した私は、近くに座っていたので袋に入れてきたお手玉を「重しになりませんか？」と差し出したら、係の人は「すみません」と言ってすぐ使ってくださいました。

しばらくしてお参りをさせていただく時、慰霊碑に菊の花を献上し、見上げますと碑の前にさきほどのお手玉が式辞の上に三つチョコンと乗っているのです。とたんに胸にぐっと迫るものがあり。涙があふれそうになりました。十数年前から好きで作った2万5847個のうちの3個が立派な碑の前に並べられている驚きと喜び、何とも言い表すことができません。

21日の新聞には夫と私がお参りをしている写真が載っていて、また驚きました。生涯の記念となった慰霊祭になりました。

